

平成28年度柏市健康福祉審議会
第2回児童健康福祉専門分科会
(平成29年3月27日)

■子育て関連施設の新規開設 【子育て支援課】

【平成28年度の取組】

新富げんきなひろば（児童遊園）・はぐはぐひろば沼南（地域子育て支援拠点事業）を開設しました。

新富げんきなひろばは、市民から寄附された土地を地域住民と協議・検討を重ねて完成したもので、様々な活動に利用できる広場です。今後も維持管理や利活用について、地域と連携して取り組みます。

はぐはぐひろば沼南は、新たな地域子育て支援拠点として、沼南社会福祉センター内に5月に開設しました。

【今後の取組】

地域子育て支援拠点については、平成29年度、青少年センター内への設置に向けて準備を進めます。

■児童虐待防止 【こども福祉課】

【平成28年度の取組】

家庭児童相談員の増員（5名⇒6名）や情報提供等における医療機関との連携強化を実施しました。

【今後の取組】

今後は、産後ケア事業の実施（新規事業）、児童相談所設置に関する調査・検討、家庭児童相談スーパーバイザー（非常勤特別職）の配置、ペアレントトレーニング（親支援事業）の実施などに取り組んでいきます。

■子どもの貧困対策 【こども福祉課】

【平成28年度の取組】

「柏市子どもの貧困対策推進計画」の策定に向け、下記の取組を実施しました。

- ・平成28年5月～7月：支援者ヒアリング実施
- ・平成28年12月～平成29年2月：実態調査アンケート実施
- ・平成29年2月15日～：「柏市子どもの貧困対策推進計画（案）」パブリックコメント実施、平成29年3月末に計画策定（予定）

【今後の取組】

平成29年度よりひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業を始めとする新規事業の実施や既存事業の拡充を行うなど、今後も継続して子どもの貧困対策事業を実施します。

■ こどもルームの整備 【学童保育課】

【平成 28 年度の取組】

下記のとおり、こどもルームの整備を進めました。

- ・富勢小こどもルーム第一保育室・第二保育室建設
- ・柏六小こどもルーム第二保育室リース建設
- ・光ヶ丘小こどもルーム第一保育室・第二保育室設計
- ・十余二小こどもルーム第二保育室設計

【今後の取組】

既存の施設をできるだけ活用しながら、整備を進めていきます。

- ・柏六小こどもルーム第二保育室リース建設
- ・光ヶ丘小こどもルーム第一保育室・第二保育室建設
- ・十余二小こどもルーム第二保育室リース建設
- ・田中小こどもルーム第二保育室設計

■ 余裕教室の活用 【学童保育課】

【平成 28 年度の取組】

光ヶ丘小、田中小、柏六小の 3 か所で余裕教室を活用しました。

【今後の取組】

現在の 3 か所から、10 か所程度利用できる余裕教室を増やし、受入児童数の拡充を図っていく予定です。利用にあたり、指導員の確保やエアコン・ロッカー等の設置などの環境が整いしだい、順次、利用を開始していきます。

■ 教育・保育の計画的整備 【保育整備課】

【平成 28 年度の取組】

幼保連携型認定こども園を 2 園、私立認可保育園を 2 園、小規模保育事業 A 型を 4 園の計 8 園を整備して定員数を 485 人増加し、平成 28 年 4 月 1 日における 2 号・3 号子どもの利用定員数を 6、379 人としました。

【今後の取組】

保育需要が増加している中で、入園保留児数の推移を注視しながら、引き続き、既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行と、私立認可保育園の整備を優先して行います。また、必要に応じ小規模保育事業 A 型を整備します。

■ 病児・病後児保育事業 【保育運営課】

【平成 28 年度の取組】

平成 31 年度までに病児・病後児保育施設を市全域で 2 か所とする計画でしたが、計画を前倒しし、平成 29 年 3 月 1 日に「名戸ヶ谷病院病児・病後児室おろーぶ」を開設しました。当施設は、市内初の病児対応型の施設となります。

【今後の取組】

担い手の確保が難しい事業ですが、地域バランスや利用ニーズを勘案し、北部地区への設置に向け、平成 29 年度予算に所要額を計上し、積極的に取組を進めていきます。

■ 幼稚園教諭・保育士の確保 【保育運営課】

【平成 28 年度の取組】

合同就職説明会を 8 月・1 月に開催、前年比 27% 増の 232 名が来場し、市内各園の幼稚園教諭・保育士確保に寄与しました。また、平成 27 年度に引き続き復職支援講習会を実施し、子育ておしごとメール（子育てに関する求職情報のメール配信事業）や職場見学会（復職を検討する方に実際に現場を体験していただく事業）等の新たな試みも始めています。保育士向けの市独自の処遇改善事業・保育士宿舍借り上げ支援事業を平成 29 年度予算に計上しました。

【今後の取組】

平成 29 年度は処遇改善事業などの取組を検証すると共に、これまで実施してきた保育士確保事業を継続していき、引き続き、個々に対するアプローチと各園に対するフォローの双方の視点で、各取組を進めていきます。

■ 障害児通所支援（児童発達支援） 【こども発達センター】

【平成 28 年度の取組】

下記の取組を実施しました。

- ・平成 28 年 4 月、社会福祉法人青葉会の児童発達支援センター「リトルペガサス（定員：30 人）」や民間児童発達支援事業所の開所により定員総数が増加しました。
- ・平成 29 年度の児童発達支援センター利用児の受け入れについて検討会を実施し、各センターの特性を活かした適正支援の提供に取り組みました。
- ・平成 29 年 1 月に市内 14 か所の児童発達支援事業所と連携会議を開催し、情報交換や意見交換等を行いました。
- ・次期ノーマライゼーションかしわプランの策定に向けたニーズ調査と事業評価の指標としてキッズルーム利用者にアンケートを実施しました。

【今後の取組】

児童発達支援センター間の連携を強化するため、発達の気になる子ども達の多くが在籍する幼稚園や保育園等への支援強化等に取り組みます。